

平成30年3月30日

新宿区長 殿

法人名 特定非営利活動法人
 東京都中途失聴・難聴者協会
 所在地 東京都新宿区新宿 2-15-25-202
 (フリガナ) シンタニ トモヨシ
 代表者氏名 理事長 新谷 友良

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	聞こえに困ったら～家族が聞こえにくくなったとき～ パンフレット作成事業
実施日時又は期間	8月 担当者会議 執筆依頼 11月初旬 原稿締め切り 2月 印刷依頼 3月5日 納品 順次関係各所へ送付
対象者の範囲及び人数	① 日常の活動で高齢者を対象としている方々（事業所） ② インクルーシブな社会への理解を深めてほしい児童・学生（学校） ③ 難聴者とその家族（耳鼻咽喉科医院） ④ 難聴者・難聴に関する啓発講座参加者
事業内容	周囲にいる、聞こえない・聞こえにくい人の状況を理解し、適切な支援の方法を知るためのパンフレットを作成し、区内の関連施設・事業所・学校に送付、活用を働きかける。
具体的な活動状況	タイトルを「聞こえに困ったら～聞こえにくい方の家族や周囲の方のために～」に変更した。家族だけでなく、友人・同僚・同級生・支援対象に難聴者がいる方に読んでいただきたいと考えたうえで。専門家、当事者に執筆を依頼し、読みやすく中学生にも分かりやすい内容のパンフレット作成を目指し、2000部を印刷。当初1000部作成の予定であったが、作業工程の工夫により予算内で2000部作成することができた。 完成したパンフレットは約300箇所へ送付。手渡しでの配布は今後も続ける予定。

事業の成果	分かりやすい内容のパンフレット作成の目的はある程度達成できた。送付先からは分かりやすくまとめられている、ほしかった内容だ、との反響も徐々に届いている。
-------	---

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 支払金額を確認できる領収書等（写し可）を添付してください。

収入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			149,674 円
	参加費、資料代等			0 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		280,000 円
	計	429,674 円		
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	8,676 円	資料用紙代・印刷インク代	
	宣伝費	149,040 円	美巧社（上質紙・表紙カラー加工紙・A5判・32頁 2,000部）149,040 円	
	リース費	0 円		
	消耗品費	4,579 円	封筒代 2,959 円 用紙代 1,620 円	
	謝礼	45,000 円	執筆料 15,000 円×1名=15,000 円 21,000 円×1名=21,000 円 体験談掲載協力 3,000 円×3名=9,000 円	
	人件費	68,000 円	打ち合わせ @2,000×6回×1人=12,000 円 @2,000×8回×1人=16,000 円 @2,000×6回×1人=12,000 円 @2,000×11回×1人=22,000 円 体験談掲載作業 @3,000×2名=6,000 円	

	材料費	50,000 円	デザイン・イラスト料 50,000 円×1 名=50,000 円
	交通費	18,924 円	5,780+6,324+1,868+4,952=18,924 円 (内訳は別紙参照)
	その他諸経費	216 円	振込み手数料 216 円
助成対象事業費 (小計)		344,435 円	
余 剰 金		50,377 円	280,000-(344,435×2/3)=50,377 円
助成対象外事業費		34,862 円	送料(クロネコメール便・宅急便) 34,862 円
事 業 総 額			429,674 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	目標としていたパンフレット作成と配布はできたが、これを使っての啓発・研修につなげる働きかけはこれからになる。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	学校(小学校・中学校・高校・特別支援学校)・高齢者に接することの多い施設(事業所・介護施設・通所介護施設など)・社会福祉関係・耳鼻咽喉科医を主な送付先とした。難聴者に接する具体的な方法が現場で参考になると考えられる。 また、今後パンフレットを活用した啓発講座の開催により、広く理解を広げることにも可能と考える。
費用対効果は適正であったか。	パンフレットの内容の精査に予定以上の労力を費やすことになったが、今後の効果も期待できることから、適正だったと考える。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	パンフレットは作成、配布で終わりではない。この内容を理解していただき、工夫を実行してもらうのが最終目的となる。ここにつなげる研修や講座などの働きかけが今後の課題となる。
理解者や支援者が広がったか。	パンフレット配布から日数があまり経っていないが、耳鼻科医、難聴者と日常的に接している方から好意的な意見が寄せられ、追加の依頼もあった。一般の方々の日常生活が変化していくことが、理解が広がったことになる。結果が見えるのはもう少し先のことと思われる。

事務局の執行体制は十分だったか。	事業を進めるマネジメントが不十分だったため予定の2月初めというスケジュールからは遅れたが、より良いものができ、結果的には期間内に納めることができた。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取組がなされていたか。	このパンフレット作成事業は作成と配布で終了ではない。パンフレットの内容が手に取った方々にどれだけ理解され、実践していただけるかが最終的な目的となる。今後もパンフレットを材料として、働きかけを続けていくことになる。この活動は、新宿区内にとどまらず、都内全域を対象としたものになる。この活動を前提として、パンフレットは増刷し、300円程度の有料販売とし、安定的に事業を継続し、研修等に繋げることでさらなる活動の促進を図りたい。
その他	増刷分1000部は増刷版の表示をする。 1部300円で販売するものとし、助成分とは別に管理する予定。

4 活動の成果

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。
*参加者の意見等も報告してください。